

アカイカ速報

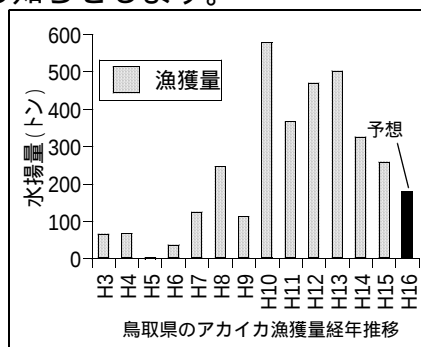
- H16 Vol. 6 平成16年漁期漁獲動向のまとめ -

平成16年12月21日 鳥取県栽培漁業センター

- 平成16年漁期の漁獲動向に関するまとめをお知らせします。

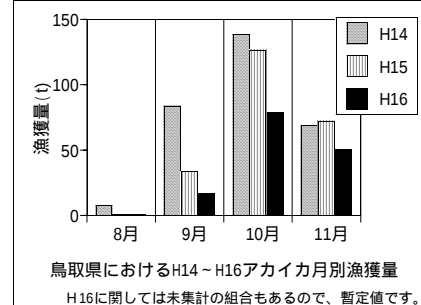
年間漁獲量（予想）

11月現在の集計結果から推定した平成16年のアカイカの年間漁獲量は200t弱と推定されました（右図）。しかしながら、12月に入っても比較的アカイカが漁獲されていることから、最終的には予想を上回る可能性もあります。なお、今年度は単価が高く水揚げ金額は昨年を上回るものと予測されます。



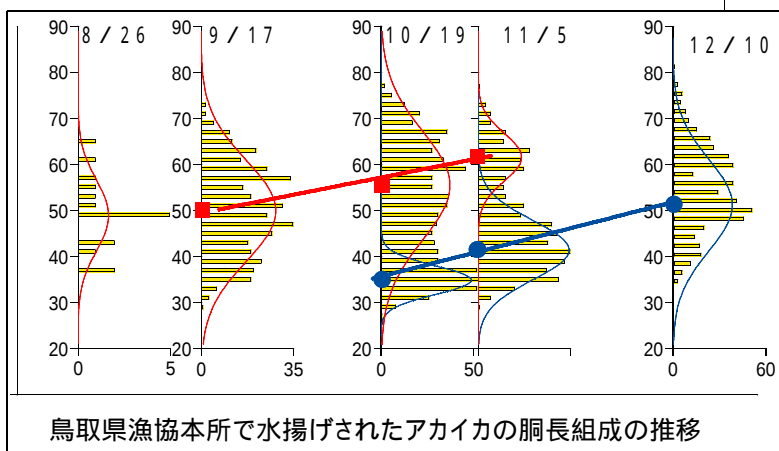
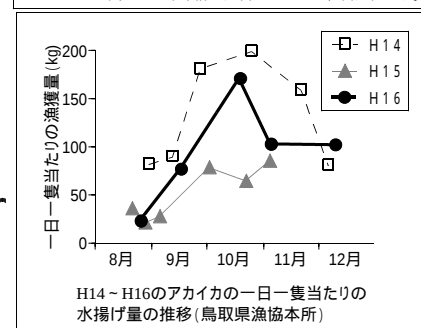
月別漁獲量

今年度はアカイカの来遊時期が遅れ、漁獲開始時期が例年より遅めとなりました。また、例年アカイカの漁獲量が最も多いのは10月ですが、今年は台風の影響で出漁機会が減り漁獲が伸びませんでした（右図）。



市場調査から見た今年の漁獲動向

鳥取県漁協本所におけるアカイカの市場調査結果から、一日一隻当たりの水揚げ重量を推定しました（右図）。今年は漁期前半こそ量が少なかったものの、10月については、H14と同水準にあったものと考えられました。つまり、10月は漁獲量は伸びませんでしたが、来遊資源量自体はさほど低くはなかったものと考えられました。



左図は鳥取県漁協本所で漁獲されたアカイカの胴長組成の推移です。漁期前半（9月）には胴長50cmに平均を持つ群（赤い曲線）が来遊してきました。

さらに、10月に入ると胴長35cm前後の小型群（青い曲線）が加入して

きました。11月から12月にかけて漁獲の主体が後に加入した小型群に置き換わる傾向が認められました。

